

第2回 東予港港湾脱炭素化推進協議会 議事録

1 開催日時 令和6年11月21日(木)10時30分~12時00分

2 開催場所 西条市地域創生センター 大研修室

3 議事

(1) 東予港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について

- 1) 前回の議事内容について
- 2) 東予港港湾脱炭素化推進計画について
- 3) アンケート・ヒアリング結果について
- 4) 温室効果ガス排出量・吸収量の推計結果について
- 5) 港湾脱炭素化推進計画の目標について
- 6) 温室効果ガス排出量の削減目標・削減計画について
- 7) 水素・アンモニア等供給目標・供給計画について
- 8) 東予港の脱炭素化に貢献する取組について
- 9) 東予港港湾脱炭素化推進計画の検討スケジュール案について

(2) 意見交換

4 議事要旨

(1) 開会

(2) 議事

ア 東予港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について
事務局から内容説明を行った。

イ 意見交換

・水素・アンモニアの供給拠点整備について、新居浜港や波方ターミナル等の他港から供給を受けるといった他港との連携という観点から、計画を策定するのが良い。

・脱炭素化に向けた短期的な取組として、水素トラックやEV車両の導入があるかと思われるが、松山空港や他空港で使用されているバイオディーゼル燃料の活用等も考えられる。

・脱炭素化に向けた長期的な取組として、削減できなかった分については、カーボンクレジットを活用してオフセットしていくことも考えられ、加えて、クレジットの創出として、ブルーカーボンの造成も脱炭素化に資するものと考えられる。

・港湾脱炭素化推進計画は、法定計画ではあるが、達成されなければ罰則があるというものではなく、関係者が協力して目標達成を目指すための計画であるため、前広に多くの取組を位置づけていただきたい。

・四国地方整備局では、毎年カーボンニュートラルポート形成に向けた勉強会を開催しており、新しい技術や先進的な事例の紹介を行っているため、参加について検討いただきたい。

・低炭素化の取組として、これまでの発電設備等を効率・効果的な設備へリプレイスするなど行っている。

・波方ターミナルにおいては、アンモニアの導入や拠点整備について、関係者が協同で検討を行っているところ。

・KPI2について、設定方針や今後の見直しについてご教示いただきたい。

⇒KPI2の中期目標については、各事業者様の皆様にアンケート等を実施し、荷役機械のリプレイス時期等を勘案した上で数値を設定する予定であり、長期目標については、カーボンニュートラル達成のため100%としている。見直しに関しては、計画策定後においても、荷役機械のリプレイス時期等が決まった段階で積極的に見直しができるかと考えている。

・西条市では、地球温暖化対策実行計画を作成中であり、中でも特徴としては、CO2排出量は産業部門からが全体の約8割、船舶や車両を含む運輸部門が約1割を占めている。今後、西条市の脱炭素化を加速させるためにも是非とも皆様のご協力をお願いしたい。

- ・波方ターミナルは、アンモニアの導入や拠点整備を行うとのことであり、東予港からも近郊に位置していることから、積極的な活用を検討いただければと思う。
- ・低炭素化の取組として、工場の照明のLED化、太陽光発電設備の導入、再エネ証書による購入電力の100%再エネ化等を行い、排出量削減に努めてきたところ。水素・アンモニア等の次世代エネルギーにも注目しており、工場への導入が可能となれば活用していきたいと考えている。

(3) 閉会